

この頃の親の傾向

下田 弘子

一、自分の考えを変えようとしめない。

一、育児書の読みすぎ。

一、自分の子供さえよければよい。

一、自分が悪くても決してあやまらない。

私の園では登園が遅く、朝からアクビ・朝食ぬき・指しゃぶり・昼頃にならないと目がさめない。くわえて年長児でも乳児の様な甘え方をする。すべての親の生活のパターンで動かされている為である。

「昨日は二時頃ねたんです。親が徹夜しちやって」

「無理に起したら、いくら云っても朝たべないんですよ」

「あーら指だけじゃなく鼻も耳もいじるんですよ。」

でも大きくなればなおるっていうから」

「ボケーとして一人で洋服着ないし、私も遅刻しちやうから着せちやうんです」

「いつも時間がないでしょ。昨日は時間があったから、こういう時じゃないと出来ないから、沢山スキップしたら、今朝はベタバタまわりついて、いやになっちゃう」

母親のこうした会話の中に反省はなく、むしろ云う事をきかない子供達に責任のある様ないい方をする。時間的に不規則な職業が多く、やむをえない部分もあるが、その分子供にしわよせが来ている事に気がつかない。その辺覚悟の上で子供を生んだのだ

と思うのだが、"もう少し会話を多く、出来るだけ規則正しく"等園側で働きかけても、O大学のO先生はこう云っている、Oの本にはこう書いてあった。

だから自分には自分なりの育て方がある。保育園では保育園のいいようにやってくれ、という答が返ってくる。園側でも規格製品のな子供を育てる気は更々ないが、基本的な生活習慣を無視したい、分には、ほとほとあきれてしまう事がある。自分の考えでなく、権威に弱いのである。自由に雑草の様に育てるといのだが、その事が我まま・勝手・乱暴につながり、自分の感情をセーブ出来なくなる子に育つ事に気づいていない。自由という事が放任にはかからない。そして愛情をそそぐ事が、小動物を愛する様なやり方だと思っている。保育園での子供の生活や全体的になおしてほしい事を、ビデオにとって、保護者会で見せ、園側の意とする事を話し、ビデオの感想を求めた所、"自分の子供がうつっていな

かったのがっかりした"という思いの方が強かった。そのくせ知的な要求は強く、保育園に入れておくと、幼稚園に入っている子より劣るのではないか。もっと字や数をおしえてほしい等、云ってくる。長い目で子供を理解しようとせず、フラスコ1+1=2という様な、はっきりした答えが返ってくれば出来の良い子だと思っている。幼児の時に遊びこみ、遊びの中からいろいろな事をまなぶ事によって、より良い人間形成が出来るのだと話しても、「でも幼児の時に、英語とか算数をおしえておくのが一番いいっていわれているじゃない」ときき入れ様としない。本末転倒ではないだろうか。

もちろん、すべての親がこうではないが、全体的に常識だと思っている事を全然知らず、理論で押しまくり理屈が多い。

目下我園としては、こうした親と、どこまで理解しあえるかが課題である。(港区立西麻布保育園)